



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日
東

上場会社名 株式会社ジェーシー・コムサ 上場取引所
 コード番号 2876 URL http://jc-comsa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)和田 隆介
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役CFO (氏名)今井 福三 (TEL) 03(5722)7261
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,347	0.5	312	△24.6	254	△36.5	99	△49.5
26年3月期第2四半期	8,309	3.9	414	△25.2	401	△26.8	196	△24.7

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 111 百万円 (△43.4%) 26年3月期第2四半期 197 百万円 (△24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	12.09	—
26年3月期第2四半期	23.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,157	3,399	41.7
26年3月期	7,873	3,370	42.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,399 百万円 26年3月期 3,370 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	0.1	750	△7.1	750	△7.5	400	0.2	48.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	8,477,890株	26年3月期	8,477,890株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	272,590株	26年3月期	271,495株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	8,205,892株	26年3月期2Q	8,207,234株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政治主導による金融政策、財政政策等に支えられ、企業業績が改善傾向にあるなど、景気回復の兆しが見られるものの、物価上昇や消費税増税に対する警戒感は強く、経済環境は依然として不透明な状況が続いております。

食料品・外食業界におきましては、一部で消費回復傾向が見られるものの、雇用情勢の改善の遅れや消費税のアップ、電気料金の値上げなどによる先行き不安から消費者の節約志向は依然として高く、円安を中心とした影響による原材料の高騰や、低価格競争が一段と強まる中で引き続き厳しい経営環境が続いています。

このような経営環境の中で、当社グループは経営理念としている「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,347百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は312百万円（同24.6%減）、経常利益は254百万円（同36.5%減）、四半期純利益は99百万円（同49.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①食料品事業

業務用製品では引き続き重点自社製商品『デルソーレイレブン』の販売強化、『小麦ごはん』という新感覚の提案型商品戦略の強化、新規取引先の開拓および新規ユーザーへの積極的な提案営業の推進、新規販売チャンネルへの取り組み、マーケティング分析による新商品の開発等を実施することで、売上の伸長、収益の確保、増大を図ってまいりました。

また、生産部門におきましては原材料調達コストの改善、変動労務費の削減、製品の歩留まり改善、品質管理の強化を通じて生産性の向上を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間では引き続きデルソーレブランディング効果等により増収となり、売上高は5,943百万円（前年同期比4.3%増）、一方原価高騰の影響によりセグメント利益は605百万円（同8.6%減）となりました。

②外食事業

外食業界におきましては、消費税の引き上げによる個人消費の低迷が続き、経営環境は厳しい状況が続いております。

主力業態である「一番どり」「燻鶏」につきましては、店舗毎のQ S Cの見直し、磨き込みにより売上高の拡大に取り組んでまいりました。また、人件費では、労働生産性の改善等による徹底したコストコントロールを継続して行ってまいりました。

宅配事業におきましては、安定的な収益基盤の構築を経営テーマに掲げ、オペレーション力の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間では不採算店舗の閉鎖、既存店の改装費用を計上し、売上高は2,415百万円（前年同期比7.5%減）、セグメント利益は11百万円（同62.3%減）となりました。

③海外事業

海外事業におきましては、PT INDOFOOD CBP SUKSES MAKMUR TBKとの間で、インドネシアにおいて各種食品の製造加工並びに外食事業を行う合弁会社PT Indofood Comsa Sukses Makmurを設立しました。ジャカルタ市内に生パスタと当社クラストをベースとするピザをメインに提供するカジュアルなイタリアンレストラン「Popolamama」を6月に2店舗、7月に1店舗、計3店舗を開店致しました。

当第2四半期連結累計期間では、出店に関する諸経費の計上により、セグメント損失は101百万円（前年同期はセグメント損失34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ284百万円増加し8,157百万円となりました。これは主に、現金預金が減少した一方で、売上債権や有形・無形固定資産が増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ254百万円増加し4,758百万円となりました。これは主に、未払法人税等や借入金の残高が増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ29百万円増加し3,399百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては現時点では据え置き、見直しが必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,115,578	838,082
受取手形及び売掛金	2,103,829	2,346,695
商品及び製品	412,416	415,819
原材料及び貯蔵品	301,337	394,376
その他	231,234	252,087
貸倒引当金	△642	△3,165
流動資産合計	4,163,753	4,243,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,959,247	4,016,390
減価償却累計額	△3,053,223	△3,075,820
建物及び構築物(純額)	906,023	940,569
その他	3,310,780	3,424,088
減価償却累計額	△2,348,877	△2,394,117
その他(純額)	961,902	1,029,971
有形固定資産合計	1,867,926	1,970,540
無形固定資産	212,210	285,347
投資その他の資産		
敷金及び保証金	715,262	706,008
その他	931,169	967,912
貸倒引当金	△16,667	△15,847
投資その他の資産合計	1,629,764	1,658,073
固定資産合計	3,709,901	3,913,961
資産合計	7,873,655	8,157,858
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,367,772	1,381,330
短期借入金	489,750	537,500
未払法人税等	37,933	129,590
賞与引当金	129,463	89,861
資産除去債務	6,217	25,250
その他	644,242	684,500
流動負債合計	2,675,379	2,848,031
固定負債		
長期借入金	367,500	445,000
役員退職慰労引当金	304,052	316,097
退職給付に係る負債	438,225	438,920
資産除去債務	660,393	653,058
その他	57,701	56,979
固定負債合計	1,827,873	1,910,054
負債合計	4,503,252	4,758,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	823,810	823,810
資本剰余金	1,079,079	1,079,079
利益剰余金	1,466,110	1,483,269
自己株式	△4,737	△5,110
株主資本合計	3,364,262	3,381,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,765	8,317
繰延ヘッジ損益	△1	1,640
為替換算調整勘定	3,376	8,764
その他の包括利益累計額合計	6,140	18,723
純資産合計	3,370,403	3,399,771
負債純資産合計	7,873,655	8,157,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,309,100	8,347,382
売上原価	4,952,112	5,136,297
売上総利益	3,356,988	3,211,085
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,208,653	1,162,197
賞与引当金繰入額	67,827	64,755
退職給付費用	25,111	22,059
役員退職慰労引当金繰入額	16,214	15,345
その他	1,624,399	1,633,961
販売費及び一般管理費合計	2,942,206	2,898,318
営業利益	414,781	312,766
営業外収益		
受取利息	92	53
受取配当金	5,904	4,606
受取賃貸料	2,838	2,958
その他	4,692	3,421
営業外収益合計	13,528	11,039
営業外費用		
支払利息	12,914	7,315
持分法による投資損失	7,925	55,283
その他	6,027	6,384
営業外費用合計	26,867	68,983
経常利益	401,442	254,822
特別利益		
固定資産売却益	1,841	119
事業譲渡益	3,462	—
特別利益合計	5,304	119
特別損失		
減損損失	33,274	23,409
固定資産除却損	419	2,976
子会社清算損	116	—
特別損失合計	33,810	26,385
税金等調整前四半期純利益	372,937	228,556
法人税、住民税及び事業税	130,156	115,504
法人税等調整額	46,147	13,828
法人税等合計	176,304	129,333
少数株主損益調整前四半期純利益	196,633	99,223
四半期純利益	196,633	99,223

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	196,633	99,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,000	5,552
繰延ヘッジ損益	△2,580	1,642
為替換算調整勘定	1,699	801
持分法適用会社に対する持分相当額	△133	4,586
その他の包括利益合計	985	12,582
四半期包括利益	197,618	111,805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,618	111,805

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。